
東京新聞・東京中日スポーツ杯争奪
第35回東京都小学生バレーボール選手権大会
東京都大会競技要項

| | |
|-----|---|
| 主 催 | 公益財団法人東京都バレーボール協会 / 東京都小学生バレーボール連盟 / 東京新聞・東京中日スポーツ |
| 後 援 | 東京都教育委員会 |
| 協 賛 | 東洋水産株式会社 / 株式会社 ミカサ |
| 主 管 | 東京都小学生バレーボール連盟 東京新聞・東京中日スポーツ杯実行委員会 |

1. 大会の趣旨

- ① 教育的な環境のもとにバレーボールを通じて、都内の児童相互の親睦交流をはかる。
- ② バレーボールによって、小学生の体力向上と体力養成に務め、心身共に健全な体づくりをする。
- ③ 小学生から正しいバレーボールの基本技術とチームプレイを体得し、楽しいゲームができるよう指導する。

2. 開催期間

平成26年10月25日（土）
11月 3日（祝・月）

3. 会 場

10月25日 羽村市スポーツセンター（5面） 羽村市立武蔵野小学校（1面）
羽村市立第三中学校（2面）
11月 3日 板橋区立小豆沢体育館（2面）

4. 参加資格

- ① 平成26年9月1日現在、東京都内に設置されている国・公・私立の小学校および各種学校に在籍していること。
- ② 平成26年9月1日までに、公益財団法人日本バレーボール協会の個人登録規程に基づき、選手登録を済ませていること。
- ③ 東京都小学生バレーボール連盟各支部（ブロック）予選の結果、各支部長の推薦したチームであること。
- ④ ③に相当するチームで都大会に出場の場合、登録された同一団体に限り再エントリーすることができる。

5. チーム編成

チームは監督1名、コーチ1名、マネージャー1名（内1名以上は成人であること）、選手14名以内とする。（ただし、混合は12名以内とする。）
成人のベンチスタッフは、日常子どもたちの健全育成を目指して指導に当たっていると東京都大会実行委員会が認めたもの。

6. 競技規則

平成26年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。
但し、別に定める小学生バレーボール・フリーポジション制を用いる。

7. 競技方法

男子14チーム（シード2含む）・女子52チーム（シード4含む）・男女混合4チーム（シード1含む）参加によるトーナメント戦。
女子のみ、関東大会出場決定戦（第3代表）を行う。

8. 審判員

公益財団法人日本バレーボール協会公認審判員

9. 使用球

円周 63.0 ± 1.0 cm 重量 210 ± 10 g (ミカサカラーボール軽量4号球MVA500)

10. 表彰

第1位 (男女) 東京新聞杯・メダル・賞状
第2位・3位 (男女) 盾・メダル・賞状
第1位 (混合) 賞状

11. 申し込み方法

支部大会の結果、各支部長の推薦を受けたチームは、所定の大会参加申込書と参加費を代表者会議のとき持参し、提出する。(都シードチームも含む)

12. 代表者会議ならびに抽選会

- ① 日時 平成26年10月 9日(木) 午後6時30分 受付開始
- ② 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター 417
- ③ 提出物 ①参加申込書(東京新聞用2部、都小連HPからダウンロードして使用)
②プログラム原稿(1部、都小連HPからダウンロードして使用)
③チーム写真(1枚、裏にチーム名・支部名・順位をボールペンで記入)
④JVA-MRSチーム加入選手一覧表
(代表者会議までにパソコンからプリントアウトしたもの)
⑤大会参加費 6000円
- ④ その他 会場の都合により、代表者会議への参加人数は、1チーム3名までとする。

13. その他

- ① 大会期間中に選手が負傷したとき、スポーツ傷害保険の適用を受けるので各チームで加入していること。
- ② 大会参加までに、選手は健康診断を済ませ、競技出場に支障のないようにすること。
- ③ 監督・コーチ・マネージャー章は、必ず左胸に着用し、服装は統一されていること。また、ベンチ役員のうち1名以上は、公益財団法人日本バレーボール協会/日本小学生バレーボール連盟共催の指導者講習会受講証を首から提げていること。
- ④ 本大会男子上位2チームと女子上位3チーム、男女混合1チームは、関東大会へ推薦する。
- ⑤ 各チーム公益財団法人日本バレーボール協会公認審判員を帯同すること。

14. 本大会に関する問い合わせ先

東京都小学生バレーボール連盟 競技委員長 今泉 武志
携帯電話 090-5334-5805
e-mail: imaizumi@tokyo-sva.com